

八戸都市計画下水道の変更（八戸市決定）について

下水道とは

生活環境の改善、水質の保全、浸水の防除等都市活動を支える上で必要不可欠な施設である。

八戸市では現在5,041haを都市計画決定し、この内4,326haについて事業計画に位置付け事業を進めているところであり、平成24年3月末現在で3,142haが整備済みとなっている。

今回の変更内容

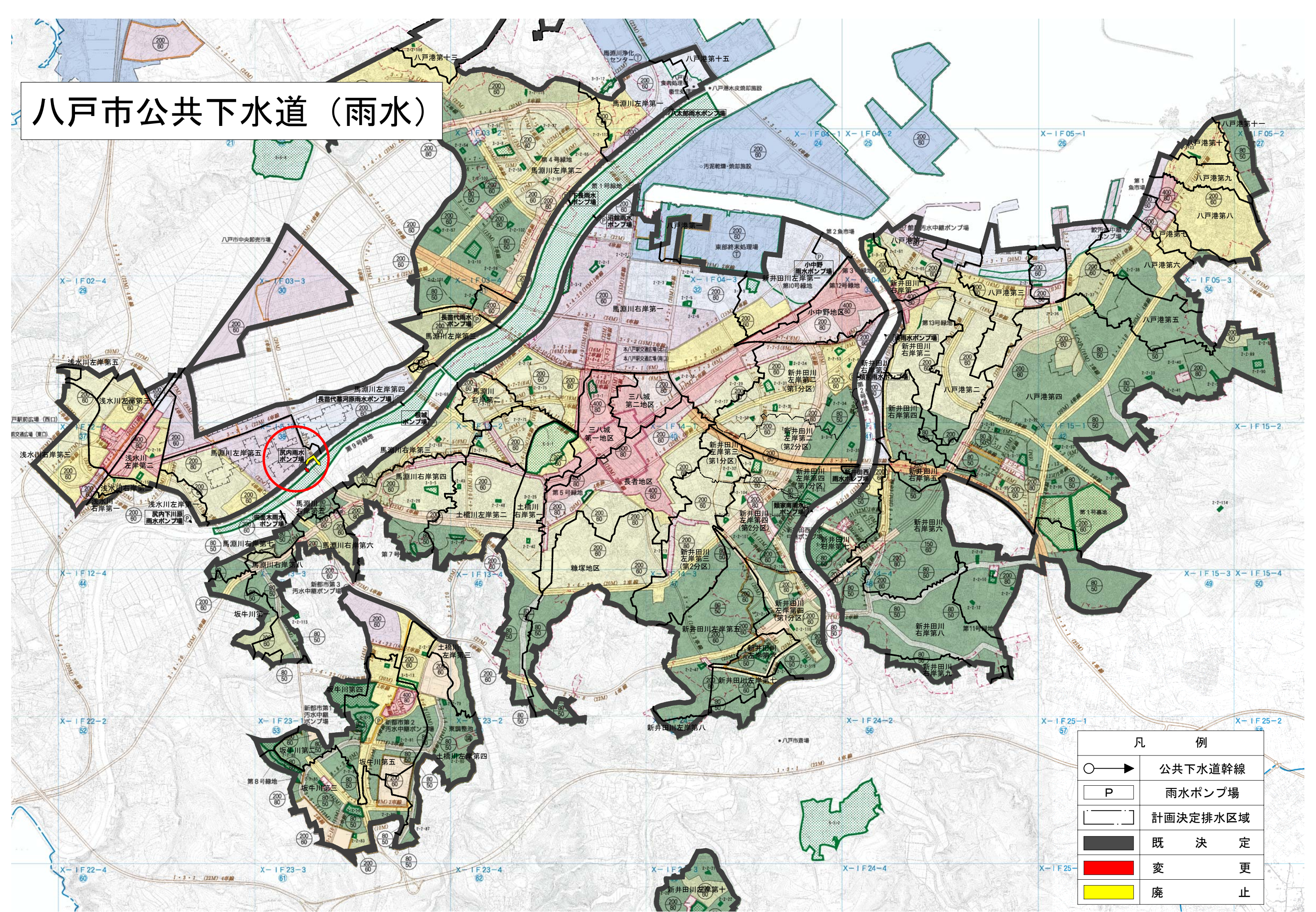
尻内雨水ポンプ場放流渠の位置を馬淵川左岸5.4k+186mから馬淵川左岸5.6k+106mへ位置を変更するものである。（図面参照）

また、尻内雨水ポンプ場の面積を約3,400㎡から約3,000㎡へ変更するものである。

変更理由

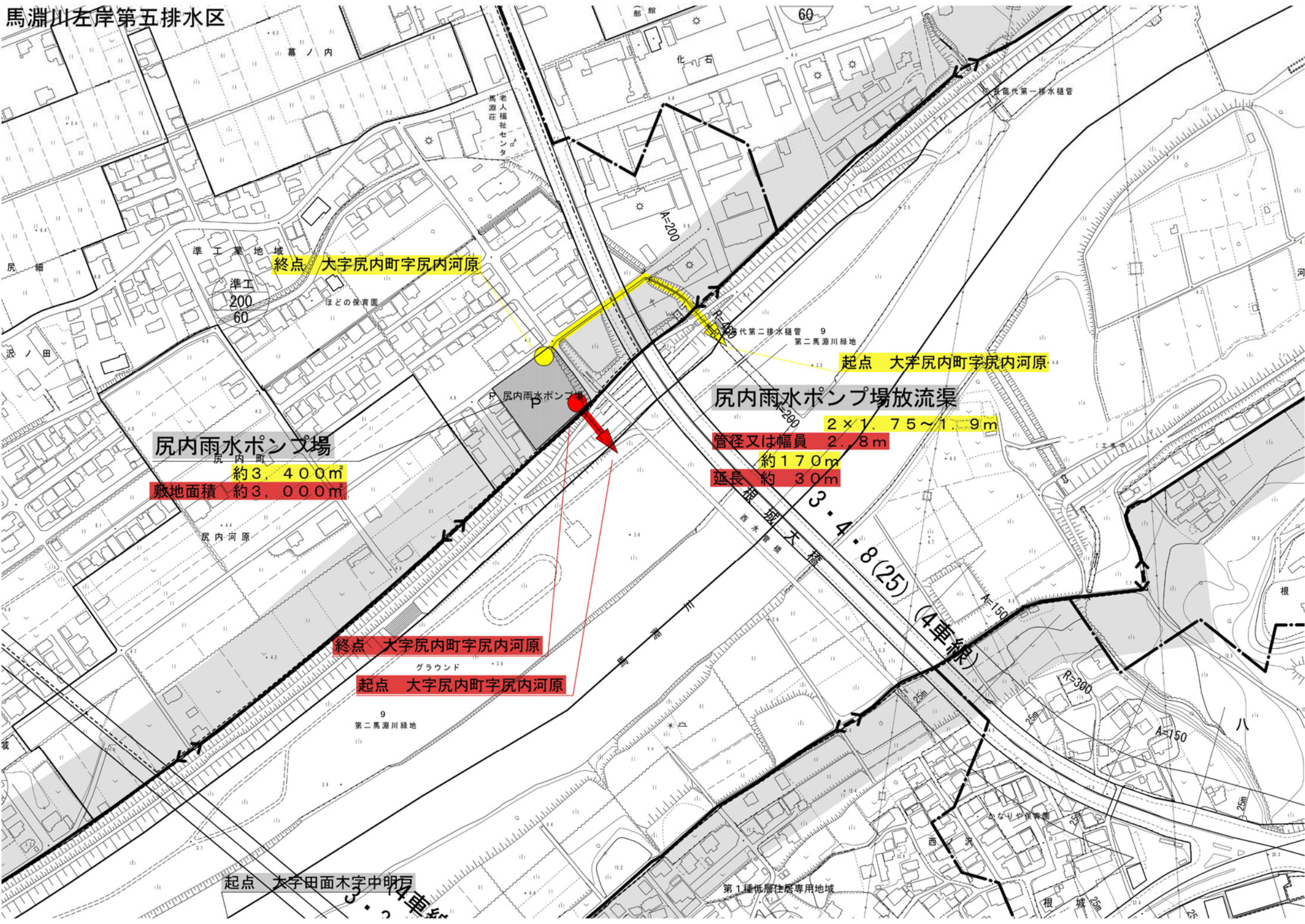
施工性・経済性及び維持管理において既決定位置より優位となる当該位置に変更し、より効率的な下水道整備の促進を図るとともに、浸水の防除に資するものである。

八戸市公共下水道（雨水）



凡 例	
○ →	公共下水道幹線
P	雨水ポンプ場
□	計画決定排水区域
■	既 決 定
■	変 更
■	廃 止

馬淵川左岸第五排水区



尻内雨水ポンプ場
敷地面積 約 3,400m²
敷地面積 約 3,000m²

尻内雨水ポンプ場放流渠
2 x 1.75 ~ 1.9 m
管径又は幅員 2.8 m
約 170 m
延長 約 30 m

終点 大字尻内町字尻内河原
起点 大字尻内町字尻内河原

起点 大字田面木字中明

八戸都市計画下水道の変更(八戸市決定)

新旧対照表

赤書き：変更前
黒書き：変更後

1. 下水道の名称

八戸市公共下水道（東部処理区、馬淵川処理区）

2. 排水区域

「排水区域は総括図表示のとおり」

（備考） 面積 約5,041ha [うち 処理区域 約5,041ha]

3. 下水管渠

(1) 汚水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
東部第1幹線	八戸市新湊三丁目	八戸市築港街一丁目	
中部第1幹線	八戸市江陽三丁目	八戸市新湊三丁目	
中部第3幹線	八戸市江陽五丁目	八戸市諏訪二丁目	
中部第15幹線	八戸市江陽二丁目	八戸市大字売市字鴨ヶ池	
東部終末処理場放流渠	八戸市大字河原木字海岸	八戸市江陽三丁目	
八戸第10・1幹線	八戸市大字長苗代字内舟渡	八戸市大字長苗代字内舟渡	

(2) 雨水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
八戸港第4・1幹線	八戸市築港街第一ふ頭	八戸市白銀三丁目	
新井田川右岸第6・1幹線	八戸市新井田西一丁目	八戸市新井田西一丁目	
長者放流渠	八戸市諏訪一丁目	八戸市柏崎三丁目	
小中野雨水ポンプ場放流渠	八戸市江陽四丁目	八戸市江陽四丁目	
湊雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字湊町字下河原	八戸市大字湊町字下河原	
類家雨水ポンプ場放流渠	八戸市諏訪一丁目	八戸市諏訪一丁目	
類家南雨水ポンプ場放流渠	八戸市類家五丁目	八戸市類家五丁目	
新井田西雨水ポンプ場放流渠	八戸市新井田西一丁目	八戸市新井田西一丁目	
沼館雨水ポンプ場放流渠	八戸市沼館三丁目	八戸市沼館三丁目	
根城ポンプ場放流渠	八戸市大字根城字ヌタゴ	八戸市根城九丁目	
田面木雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字田面木字中明戸	八戸市大字田面木字中明戸	
東調整池放流渠	八戸市東白山台四丁目	八戸市東白山台四丁目	
八太郎雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字河原木字浜名谷地	八戸市八太郎六丁目	
下長雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字河原木字蝉河原	八戸市下長七丁目	
長苗代雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字石堂字中河原	八戸市長苗代四丁目	
長苗代墓河原雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字長苗代字墓河原	八戸市大字長苗代字墓河原	
尻内雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字尻内町字尻内河原	八戸市大字尻内町字尻内河原	5.4k+186mから 5.6k+106mへ
尻内下川原雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字尻内町字下川原	八戸市大字尻内町字下川原	
市川雨水ポンプ場放流渠	八戸市大字市川町字下揚	八戸市大字市川町字下揚	

4. その他の施設

内 訳	位 置	備 考
館鼻污水中継ポンプ場	八戸市新湊三丁目	約 2,900 m ²
新井田西污水中継ポンプ場	八戸市新井田西一丁目	約 600 m ²
鮫污水中継ポンプ場	八戸市大字白銀町字昭和町	約 820 m ²
新都市第1污水中継ポンプ場	八戸市西白山台一丁目	約 1,200 m ²
新都市第2污水中継ポンプ場	八戸市北白山台五丁目	約 410 m ²
新都市第3污水中継ポンプ場	八戸市北白山台二丁目	約 860 m ²
小中野雨水ポンプ場	八戸市江陽四丁目	約 3,800 m ²
湊雨水ポンプ場	八戸市大字湊町字下河原	約 500 m ²
類家雨水ポンプ場	八戸市諏訪一丁目	約 4,500 m ²
新井田西雨水ポンプ場	八戸市新井田西一丁目	約 2,600 m ²
沼館雨水ポンプ場	八戸市沼館三丁目	約 13,100 m ²
田面木雨水ポンプ場	八戸市大字田面木字中明戸	約 3,000 m ²
類家南雨水ポンプ場	八戸市類家五丁目	約 5,000 m ²
根城ポンプ場	八戸市根城九丁目	約 3,700 m ²
八太郎雨水ポンプ場	八戸市八太郎六丁目	約 3,700 m ²
下長雨水ポンプ場	八戸市下長七丁目	約 5,300 m ²
長苗代雨水ポンプ場	八戸市長苗代四丁目	約 4,000 m ²
長苗代墓河原雨水ポンプ場	八戸市大字長苗代字墓河原	約 5,100 m ²
尻内雨水ポンプ場	八戸市大字尻内町字尻内河原 八戸市大字尻内町字尻内河原	約 3,400 m ² 約 3,000 m ²
尻内下川原雨水ポンプ場	八戸市大字尻内町字下川原	約 3,100 m ²
市川雨水ポンプ場	八戸市大字市川町字下揚	約 4,900 m ²
東部終末処理場	八戸市江陽三丁目	約 144,300 m ²
東調整池	八戸市東白山台四丁目	約 39,000 m ²

変更理由書

八戸都市計画下水道の変更

変更する都市計画 八戸都市計画下水道

1. 尻内雨水ポンプ場放流渠の位置・延長・幅員変更
 - ・位置 馬淵川左岸 5.4k + 186m 馬淵川左岸 5.6k + 106m
 - ・延長 170m 30m
 - ・管径又は幅員 2 × 1.75 ~ 1.9m 2.8m
2. 尻内雨水ポンプ場の面積変更
 - ・面積 3,400m² 3,000m²

変更理由

八戸市公共下水道は、昭和31年度に事業着手しており、現在約5,041haを都市計画決定し、約4,326haについて事業計画を策定し整備を行っています。

今回は尻内雨水ポンプ場放流渠の位置を変更するものですが、尻内町字尻内河原地区は、過去に数度の浸水被害を受けており、特に平成18年度には馬淵川が過去最高水位を記録し、大雨による床上・床下浸水被害が発生しています。このことから、尻内雨水ポンプ場の整備に向け平成23年度から事業着手しました。

既計画による尻内雨水ポンプ場からの排水は、既存の長苗代第二排水樋管へ接続し排水する予定となっておりますが、この長苗代第二排水樋管は建設から約40年が経過し老朽化が進んでおり、接続の際には再構築又は補強工事等が必要となること、また放流渠が、馬淵川以北の水道供給をしている水道管(1,000mm)を伏越しする必要があり施工が難しいことから、排水位置の再検討を行った結果、施工性・経済性及び維持管理において既決定位置より優位である当該位置に変更し、より効率的な下水道整備の促進を図るとともに、浸水の防除に資するものであります。

都市計画の策定の経緯

八戸都市計画下水道の変更について（予定）

事 項	時 期	備 考
県知事への事前協議	平成 24 年 11 月 20 日	八戸市広報「広報はちのへ」 1月号掲載
（説明会の広報等による周知）	平成 24 年 12 月 20 日	
説明会	平成 25 年 1 月 10 日	
計画案の縦覧	平成 25 年 1 月 22 日から 平成 25 年 2 月 4 日まで （2 週間）	
八戸市都市計画審議会	平成 25 年 2 月 12 日	
青森県知事の同意	平成 25 年 3 月上旬（予定）	
決定告示	平成 25 年 3 月中旬（予定）	